



好きやねん湖東

第5号



今年もみんな
楽しんだ「ふるさとまつり」

まちづくり協議会も裏方で
がんばりました



じゅんこの「ことう健康 夢クラブ」一度は、体験記

今回は、毎週土曜日午後8時から湖東体育館で行われている「ビーチボール」におじゃましました。

コートは、約40名の老若男女（小学生から70代までの方々）のあふれんばかりの熱気に包まれていました。試合？は、じゃんけんでチームを決め、2セット1試合として交互に対戦チームを変えて行われていました。

この「ビーチボール」の魅力の一つは誰でも楽しく出来て、和気あいあいとしていること、そして親子参加（お父さんと子ども）の多いことかもしれません。

冬に向かってこたつで過ごそうとしているあなた・・・、ぜひ1度参加してみたいはいかがですか。



いさやんからも一言いっすか!



「いさやん」です。よろしく！。僕もビーチボールを体験してきました。ビーチボールをするのは何年ぶりでしょう。ボールが軽いのですごく変化し、打ち返すのが超～難しい。これはレクリエーションではなくスポーツです！。2時間ほど参加させてもらいましたがいい汗をかきました。子供から大人まで、また男性も女性も関係なく楽しめるスポーツです。

じゅんこさん、正式に参加するには、どうしたらいいのですか？

じゅんこ 参加したい方は、ことう健康夢クラブ事務局 TEL 0749-45-3711 まで連絡してください。

資源回収をしています！

資源ゴミ回収で集まった廃食油の行方を調べました（^o^）



回収した廃食油



持ち込み先
あいとうエコプラザ菜の花館



ここでグリセリンを混ぜて、バイオディーゼルになります
(左から右へ、きれいになります)



精製タンク



この燃料でバスが走ります
(見かけたことありますよね)



菜の花館では、東近江市内各地から、1ヶ月に約1,500リットルの廃食油が集められ、1,200リットルの軽油（バイオディーゼル）が作られます。

湖東地域では、前回（9月24日）の資源回収で、60リットルほどしか集まってません。

次回は、たくさん回収できるよう、皆様のご協力をお願いします。

(次の回収日は、12月10日（土）です)

まちかど情報

湖一小に影絵劇団がやってきた！



スタジオライフ♪

10月21日(金)湖東第一小学校で『芸術鑑賞会』が開催され、影絵劇団スタジオライフさん(東京)による「あらしの夜に」、「ある晴れた日に」が上演されました。

この作品は、小学校3年生の教科書にも採用されている、木村裕一氏の作品で、ヤギとオオカミの奇妙な友情の物語です。

影絵は白黒だと決め込んでいた私は、これが影絵？本当？って感じるほどのきれいな色彩のため、思わず見入ってしまいました。

また、ナレーションの方のコミカルで愉快的なヤギとオオカミのやりとりがとてもおかしく、子供も大人も時間がたつのも忘れるくらい、楽しい時を過ごさせて頂きました。

絵からとび出るおはなし会



11月6日(日)湖東図書館で、右手和子さんの「紙芝居のはじまり～ はじまり～」が行われました。

会場は、満席状態で子どもたちから大人の方まで約80名が、紙芝居を楽しみました。

右手さんは、巧みな手遊びを随所に取り入れることから、観ている人と心の通い合う紙芝居となり、会場は大きな笑い声と拍手でいっぱいになりました。

紙しばいサークル
「てんとう虫」との交流もありました



協議会にゆーす

図書券当選者決定！

“資源回収で集まった新聞紙の重さを当ててください 一第4号紙面一”に、多数のご応募ありがとうございました。

正解は、12、580kgでした！

残念ながら正解者は、いらっしゃいませんでしたので、応募者の中から厳正な抽選の上、近いで賞の2名の方に図書券を郵送させていただくことになりました。

なお、今後とも、資源回収に皆様のご協力を重ねてお願いします。

次回の回収日は、12月10日(土)です



皆さんの声をお寄せ下さい！

湖東地区まちづくり協議会が発足して、早4ヶ月が過ぎようとしています。

この間、まちづくり協議会では、コトナリエ、ふるさとまつり、資源回収に取り組んできました。

今後は、子育て支援・老人福祉などの身近な課題にも力を注いでいく予定です。

そこで、日頃、皆さんが抱えている”子どもを育てていく上での悩み”、”高齢化社会を迎えての心配事”などのご意見・ご相談を私たちまでお寄せ下さい。

また、まちづくり協議会は、皆さんの身近な仲間たちの集まりです。どなたもいつからでも参加できますので、お気軽に声を掛けていただけたらと考えます。

菊作りの「名人」を訪ねて

南清水町 上原豊吉さん（73歳）



菊薫る11月。菊作りの名人として知られる、南清水の上原豊吉さんをお訪ねしました。

上原さんの菊作りのきっかけは、青年団の頃に生け花に使う菊を自宅で作り始めたこと。その後、秦荘町におられた先生の所へ毎週通うなどして菊作りに精進し、平成13年には関西菊花連盟から、第69代「名人」の称号を受け、公認審査員の資格も得るという頂点を極められました。

地元の南清水町では、上原さんの指導によってまちぐるみの菊作りが始まり、今年の11月6日に行われた「菊まつり」で18回目を迎えています。また、東近江市役所の前には上原さんの見事な菊が飾られてあります。

今では、あちこちに指導や審査に出かけられており「菊作りを通じて多くの人との交流が深まるのがうれしい」と話される、上原豊吉さんです。

小田町にお住まいの作家さんにインタビュー

京都市出身の陶芸家 松風純さん、切り絵作家 松風直美さんのお二人は、昭和57年「ことうへムスロイド村」に参加された後、昭和63年に小田町に工房を作られ、旧湖東町の住民となりました。

京焼きの松風さんの青磁の美しさと染付けの巧みに惹きつけられ、心が奪われてしまいました。

今、100円ショップで安く買える食器が多い中で、食器とは使い手が使いやすいものが1番なのだと話された言葉が印象に残りました。

また、直美さんには、切り絵の魅力についてお尋ねしたところ、絵では描けない、シャープな線が出せるところだと答えていただきました。

最後にお二人にへムスロイドむらまつりの魅力についてお聞きしました。

へムスロイド村の周りは広々として、物を創る環境としてすばらしいこと、村まつりでは色々な人たちと交流出来ること、とてもうれしいと語られていました。残念ながら、この紙面だけでは、お二人の作品の素晴らしさを紹介しきれませんでした。

どうかお二人のホームページをご覧になって、芸術の秋をお楽しみください。

ホームページアドレス <http://www10.ocn.ne.jp/~shofu/>



<編集・発行>

湖東地区まちづくり協議会

(事務局)

〒527-0113 東近江市池庄町505番

東近江市 湖東支所 地域振興課内

TEL 45-3702 FAX 45-1570

E-mail: k-machikyo@koto-kcn.jp



編集後記

今年の紅葉は、あまりきれいでなかったと感じたのは私だけでしょうか。上旬に京都に行ってきましたが、色づく前に枯れていたと表現した方がよいかも・・・童謡の歌詞のように、真っ赤なもみじを見たかったものですね・・・

